

新聞雜誌

明治壬申二月

第卅二號



定價二匁

特	別
18	
787	
32	



凡天下ノ物事日ニ新ナルニ我未ダ見聞セラルヲ知テ吾知識ヲ廣ムルヨリ
 樂シキナシ見聞ノ狭キ田舎人ハ心頑ニ知暗シテ疑恠ク多ク竟ニ我ヲ
 是トシ人ヲ非トスルノ過アリ今日カハル辱キ 御代ニ逢ヒテモ遠境ノ人ハ
 太政ノサマヲモ知ラテ却テ疑非ル者モアルベシ斯テハ逢カキ世ニ生レシカニ
 ナシ今 官許ヲ受テ新聞紙局ヲ開キ 太政ヲ始メ諸府縣ノ變革又ハ
 里巷ノ瑣事外國ノ異聞ヲ見聞ニ随ヒ刊行スルハ我 日本國中ノ
 人々ト新知ヲ開クノ樂ヲ同シ頑ナル心僻メル事ヲ棄ニトテナリ願ハ此冊子
 ヲ讀玉フ人々ヲ聞テニヲ推シ近ヲ知テ遠ヲ察シ天地間ニ我意外ナル驚
 バク喜ベキ事多ク唯一隅耳ヲ見ルハ田舎人タルヲ免レズ夏虫氷ニ擬 夫ア
 リト知玉ヘサテコソ復古ノ 大御代ニ生レシ人タルヲ貴カント云ベシ

新聞雜誌第廿二號

明治五年壬申



○今般東京外櫻田元藝州邸ニ於テ新夕ニ大學校ヲ建
 築セラル府下ノ生徒檢査ノ上入學差許サレ又大坂府
 幼年學校ノ生徒ヲモ引移サレ凡人負五千ヲ限リ大ニ
 皇漢及ビ各國ノ學ヲ興隆シ規則方法等モ嚴正ニ定マ
 リ不日開校ニ相成ルト云
 ○今般御用ニ付外務大丞兼少辨務使柳原前光同少記
 鄭永寧ノ兩負清國工差遣ハナル、昔御沙汰アリタリ
 ○先般發行ニ相成シ新貨ノ中金貨壹圓ノ分表面丸龍

新聞雜誌 第廿二號

ノ模様ニ之レアリシ處今般壹圓ト文字ニ改メラル、
ノ旨御布令アリタリ

○昨未歳冬、「オーストリア、プロシヤ、フランス、イギリス、維納府ニ於テ、「歐羅巴各國ノ兵數多少ヲ記シタル新書ヲ刊行セリ其略ヲ左ニ表ス「蓋シ各國ニテ事ニ臨ミ直ニ出スベキ兵數ナリト云

俄羅斯

歩軍 四拾七デビシユン

三ロシマンヲアリカテトシニアリ
カーテヲチビサシユントス

騎軍 拾チビシユン

雷銃隊及ビ豫備隊 ハブ

日耳曼

歩軍 三拾七デウシユン

騎軍 拾デウシユン

砲軍 三百三拾七座

通計人負 ハ拾二萬四千

リガ―テ 九大隊ヲアリ
フーレトス

コスサツソス 百九拾九聯

隊

砲軍 二百拾九座

ミトライレウシス 百五

拾座

通計人負 八拾六萬二千人

馬 拾八萬一千匹

砲 二千〇八拾四門

但シ「カウカシユス」

九百九拾人

馬 九萬五七二拾六匹

砲 二千〇二拾二門

澳地利

歩軍 四拾デウシユン

騎軍 五千ウシユン

砲軍 二百〇五座

通計人負 七拾三萬三千

九百二拾六人

ベリヤ^リ及ヒトルキスタ^ン
ノ兵隊ヲモ算入ス

英^イ吉利^{キリス}

陸軍 改革中

以^イ太^タ利^{リヤ}

歩軍 四拾ブリカーデ

騎軍 九ブリガーデ

砲軍 九拾座

通計人負 四拾一萬五千

馬 五萬八千二百二十五匹

砲 一千七百門

ミトレールレウス 百九

拾門

都^{トル}兒^コ格

本兵 六軍

豫備兵 拾二軍

砲軍 百三拾二座

通計人負 二拾五萬三千

二百人

馬 一萬二千八百六拾八匹

砲 七百二拾門

法^フ朗^{ラン}西^ス

歩軍 三拾ニダウキシユン

騎馬 拾ニダウキシユン

砲軍 百四拾座

通計人負 四拾五萬六千

七百四拾人

二百八拾九人

馬 三萬四千八百三拾五匹

砲 七百三拾二門

白^{ベル}耳^キ義^義

兵負 拾四萬五千人

馬 七千匹

砲 百五十二門

和^オ蘭^{ラン}

馬 四萬六千九百九拾五匹
砲 九百八拾四門

スウイス
瑞士

兵負 拾六萬人

馬 二千七百匹

砲 二百七拾八門

スウェーデン
瑞典及ビ諾威

兵負 六萬一千六百四人

本兵 三萬五千三百八拾

三人

農兵 八萬七千人

馬 二千五百匹

砲 百〇八門

羅馬尼亞都兒格部

兵負 拾萬〇六千人

馬 一萬五千六百七拾五匹

砲 九拾六門

ギリヤ
希臘

馬 八千五百匹
砲 二百三拾二門

スペイン
西班牙

兵負 拾四萬四千九百三十八人

馬 三萬〇二百五拾二匹

砲 四百五拾六門

ホルトカル
葡萄牙

兵負 拾二萬五千人
馬 千匹
砲 四拾八門

デンマルク
丁秣

兵負 三萬一千九百拾六人

馬 二千百二拾匹

砲 九拾六門

右諸國ノ兵備ヲ惣計シ英吉利ノ兵負ヲ四拾七萬〇七百七拾九人トシ

兵負 六萬四千三百九拾
三人

馬 六千三百二拾匹
砲 九拾六門

砲數ヲ三百三拾六門トスレハ歐羅
巴諸國ノ常備兵ヲ合シテ五百拾六
萬四千三百人馬數五拾二萬三千九拾四匹
大砲一萬。二百二拾四門ナリ

○去巳年夏六月南京人「ダイニウワナル者長崎ニ渡海
セシ時親子四名ノ異國人ヲ連來レリ父年五拾余歳一
昨午ノ年八月伊勢松坂ニ於テ病死セル由母キウワン
年四拾二歳娘ツウカンニ拾一歳弟トウテン十八歳ナ
リ先般三州葉豆郡一色村農民高山兼吉ナル者右三名
ヲ召連レ京扱其他諸州ヲ廻リ到ル處衆人ノ博覽ニ供

シ此頃東京ニ來着シ近日兩國ニ於テ又一場ヲ開キ諸
人ニ見物セシムル由四名孰レモ軀幹矮儻ニシテ恰モ
六七歳ノ小兒ニ齊シ言語文字アルヲ解セス又寒暖晝
夜ヲ辨スル能ハズ唯餓テ食ヒ飽テ卧スルノミニテ其
知覺ノ鈍キ獼猴ニモ劣レリ洋人ノ説ニ蒙古地方ニ産
セル一種ノ人類ナリト其容貌顔色ヲ觀ルニ實ニ怪異
ナルヲ驚愕スルニ堪ヘタリ
○此頃抑橋ノ歌妓阿亭ナル者横濱ニ到リ高嶋ノ學校
ニ入り英學ヲ修行スル由烟花ノ境ニモカ、ル奇特ノ
婦人ヲ出セルハ珍ラシキ事ナラズヤ

○新吉原平泉樓ノ娼妓若緑風ニ俠氣アリテ和歌ヲ詠セリ此頃又沼口某ノ設ケタル共慣義塾出張所ノ雜費ヲ助カセリト云

○今般池田元岱目澤融徳ノ両醫共慣義塾出張所ノ内ニ於テ一室ヲ構ヘ微病ヲ療治スト云微病ノ大害ナル固ヨリ言テ俟ス故ニ去年來府下醫生屢合議シ廓中ニ療徽院ヲ取建ントシ猶府廳ヨリモ其沙汰アリシカ遊女ハ勿論妓樓茶店ノ主人共一同不承知ニテ未ダ果サス今此兩負ハ舊來廓中ニ出入シ人望ヲ得タルヲ以テ此舉漸ク行ハレタリ此ヲ首トシ諸游里一般規則ヲ立

微毒ヲ療治スルニ至ラハ特リ娼妓ノ為ノミナラズ亦四方萬客ノ幸ナランカ既ニ横濱千住ノ兩所ハ其設ケアリテ初メハ診察セラル、ヲ取シカ此節ハ却テ診察ヲ受ガルヲ恥ルニ至レリト云

○近日猿若町芝居森田座願濟ニテ築地新嶋原跡旅籠町ニ引移ル由或人ノ話ニ座元勘弥ハ西洋癖ノ人ナレバ舞臺モ極テ西洋風ニ倣ヒ看客モ椅子ニカ、リテ見物セル様取建ルナラント云

○名優澤村田之助ニ町目劇場ニ於テ演技ヲ創メシニ果シテ府下ノ看客貴賤ヲ論セス日々雲集シ棧席モ隨

ル計リナリ中ニモ山谷堀ノ歌伎七人一ツ齊ノキルイカミ裙釵ニテ
 舞臺ノ花路ニ立並ビ詞符ノ讚辭ヲ發セリ繼テ柳橋新
 橋下谷深川等ノ絃妓舉テ掌ヲ拍チ其讚辭ヲ助ク嗚呼
 田之助ハイツ癡疾ニ罹リ薄倖憐ムベシト雖レ氏令衆人ノ譽望
 ヲ得ル此ノ如シ生前ノ面目亦遺憶ナシト謂ツヘシ
 ○或人此頃一首ノ狂詩ヲ賦セリ亦以テ文化ノ大概ヲ
 見ルニ足レリ因テ左ニ付ス
 試見都下文明春、事物開化日々新、三千選卒舞長杖、四萬
 人刀飛大輪、電信機將接上海、鐵車道已達橫濱、更有芳原
 起奇觀、五層玉樓勢嶙峋、

○二月十八日曉第四字左ノ名前ノ者十人各白衣ヲ着
 シ長杖ヲ携ヘ念珠ヲ襟トナシ修驗者ノ裝ニテ御嶽山
 行者ト記セル提灯ヲ持 皇城大手御門ニ到ル御親
 兵七番大隊ノ警兵之ヲ止メ且其旨趣ヲ問フニ 太政
 官ヘ直訴スベキノ旨ヲ申立テ強テ押入ントス因テ之
 ヲ舛形御門内ニ導キ尚願ノ旨趣アラバ其筋ヘ申出ツ
 ベキ由再三懇論ニ及ブト雖レ氏更ニ聽入レズ却テ抜刀
 挺身門戸ヲ壞リ入ラントス因テ不得已頭立タル者四
 人ヲ銃殺シ殘ル六人ヲ捕縛司法省ヘ引渡ニ相成タリ
 此者共千百石積ノ船久宝丸ニ乘組ミ前夜品川港ヨリ

上陸セシトゾ尚尾州産船頭楠見佐兵衛熊野産庄吉本
船ニ潜伏ノ處是又直搦當府鎮臺兵ヲ差遣サレ召捕ニ
相成タル由歎願ノ旨趣未タ詳ラカナラザレ氏各左ノ
書面ヲ懐中セシト云ニ付神佛又ハシヨコフチキヨフゴフクノサシズ
ニヨリ總モンイ
タス行者ナリ

伊豆産行者
即死

熊澤利兵衛

尾州産

源之助

三河産行者
即死

嘉七

同 左肩玉傷

斧吉

東京深川熊井半町住
即死

八幡屋清七

同 胸股右
手玉傷

平吉

尾州宇津見産
即死

秀吉

伊豆大嶋産

清吉

伊豆加茂郡大河村
大工虎吉
車傷

恒吉

藝州産

清吉

○二月六日山陽道筋大地震ニテ藝州地方最モ甚鋪土
地破裂シ山上ノ巖石ナト街道ニ轉ヒ落チ之カ為ニ郵
便脚夫スラ數日往来ヲ絶チ又處々ニ潰レ家アリテ死
傷ノ者モ之アリタリト云

○二月十日横濱辨天通りニ丁目吉田幸兵衛召仕多助
ナル者主人所持ノ馬ニ打乘リ猥リニ徘徊イタシ全所
吉原姿見町ニテ一婦人ニ乗掛ケ蹴倒シ瘡ヲ負セタル
ニヨリ神奈川縣廳ニ於テ其不東ナルヲ罰セラレ杖九
十申付ラレタル由

新聞雜誌第卅二號終

報告

○筆算通書 靜菴花井先生著 二冊

此書ハ筆算ノ洋式ヲ詳カニシ 本邦西洋ノ題術ヲ
比較シ加減乗除ノ四則ヲ始メトシ正轉合ヨリ諸種
ノ比例ヲ舉ケ開平開立諸乘ノ方根ヲ求ムル通法ヲ
録シ點竄代數法及ヒ不定數ノ諸題ヲ解術シ總テ測
量學ノ數理ヲ説キ萬邦普通ノ法ヲ示ス故ニ筆算入
門ノ書之ニ過キタルハナシ

從兌賣弘所

東京神田明神下
萬青堂

嶋屋平七

撰者伏テ四方ノ君子ニ告ゲ奉ル本局既ニ 官許ヲ得テ新聞紙ヲ刊行ス
其旨意ハ前ニ述ル所ノ如シ但奇事異聞目目ノ及バサル處多シ頗久同好ノ人
何事ニヨラス其處々ノ新聞ヲ書集メ本局及ビ下ニ列スル賣弘處ニ寄セ玉
ハ次第ニ刊行發兌スシ旧寄玉ヲ書付ニ其任處姓名ヲ必ズ載セ玉ヲ
可シ無名ノ書ハ敢テ采入セス無根ノ浮言造謠アルヲ恐ルハナリ

一切賣買ノ弘メ等望ニヨツテ出版スル事件

- 一 田地山林家屋舟車等賣買貸借
- 一 產物器具食品藥劑等一切賣買
- 一 諸船ノ入湊出帆積荷ノ物件等
- 一 店ヒラキ新規賣出等ノ引札
- 一 觀セモノ集會等ノ引札
- 一 右等何レモ一行止三字一度出板價ニ勿究同事件二度分ハ五々三々
- 一 三度分ハ八々ニテ御引受イタシ候
- 一 失物尋物等
- 一 金銀其外ノ貸借等

新聞雜誌定價一號銀二匁 每週出版

當時發兌號ヨリ先キ十冊分引受候向ハ定價ヨリ一割半引

同二十冊分ハ二割引 同四十冊分ハ三割引

右定ノ通約定前金受取候上ハ每號發兌順序ヲ逐ニ本局ヨリ御届致候又遠方取次賣弘方望ノ人ハ本局ノ御引合ノ上御相談可申候

本局

東京兩國若松町 新 堂

東京西國橋通五丁目 和泉屋金右工門

東京芝三馬町 和泉屋市兵衛

大塚橋通 河内屋吉兵衛

西京東洞橋通 村上勘兵衛

東京日本橋通書面日 須原屋茂兵衛

大塚橋通 河内屋喜兵衛

大塚橋通書面日 河内屋清七

東京日本橋通 和泉屋杜

賣弘所